

AJU 愛実

第43号 会報

編集: 特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家/愛実友だちの家/紙風船)

定価:一部100円

人生を味わう/島しづ子	P1
法人全体研修会報告/事務所	P2
2018年度法人事業報告・会計報告	P3~4
大地の家	P5~6
紙風船	P7~8
居宅介護事業所あみ	P9
寄付者名簿	P10



大地の家
かかみがはら
航空宇宙博物館



紙風船
おおぶの杜公演

人生を味わう

理事長 島 しづ子

ジャン・バニエが5月7日に亡くなりました。90歳でした。私は30年前に娘と一緒にジャン・バニエに会いました。そのとき、車椅子に座り無表情の娘に対してジャン・バニエは無言で、こう接してくれました。「陽子さん、一生懸命に生きてきましたね。私はあなたを尊敬していますよ。神様もあなたを大事に思っていますからね」。その時「尊敬されるために偉くなる」と生きてきた自分が間違っていたと気がつきました。以来、ジャン・バニエのしていることを学び続けてきました。55年前にジャンはフランスのトロリー村で精神病院に閉じ込められていた二人の青年と一軒家で暮らし始めます。彼は第二次世界大戦まではイギリス海軍大尉でした。戦後、哲学博士になり、カナダの大学で教えていたときにトロリー村にいたトマ神父から「友達に会いに来ないか」と誘われて障がいを持つ人たちに会いました。その後多くの障がい者が大きな施設であまり人間的でない環境で生かされていることに気がつきました。それでラファエルとフィリップという二人の知的障がいを持つ青年と暮らし始めました。トイレもシャワーも十分でなく、ジャンは料理も下手で大変だったようです。一緒に生活し、料理し、一緒に食べ、掃除する。一日はそのように終わりました。その生活の中で、ジャンは海軍時代にも教授時代にも味合わなかった幸せを感じる様になりました。彼らと一緒に過ごす生活が楽しくなったのです。一方彼らとの生活から、彼らが障がいのゆえに味わった苦しみ、孤独、怒りも知るようになりました。またジャン自身も彼らとの生活で自分の中に暴力的な思いがあることを知らされました。

家族的なホームで障がいを持つ人たちのすばらしい面も発揮されていきました。その働きは共感を呼び、ラルシュ・ホームと名付けられたグループホームは世界中に150箇所になりました。その歩みは人間とはいかなる存在か、如何に弱いものか、助け合うことで互いが生かされることを示す働きとなっています。

私はジャン・バニエの思想と生き方を模範として愛実の会を続けて来ました。5月16日にフランスのトロリー村で行われたジャンの葬儀に参加しました。葬儀には、世界中からの障がい者とアシスタント、トロリー村に住むコアメンバーとアシスタント、アシスタントOB・OGが参列していました。司会もスピーチもラルシュ・ホームのコアメンバーとアシスタントと一緒に担っていました。式の間、車椅子に横たわっているメンバーもいました。トイレに何度も行く人もいました。終始温かい雰囲気でした。特に印象的だったのはこんな場面でした。トロリーのラルシュの責任者クリスチーナの「ジャン！〜〜〜」「ジャン〜〜〜」との語りかけに応じてコアメンバー達が、舟形の棺を囲み青い布を揺り動かし、海原に漕ぎ出す応援をする。棒の先に糸でつるされた紙の鳩をひらひらさせ、次第に高く高くと上げて行きました。それは「ジャン、大好きだったよ、一緒に歩いてくれてありがとう、もう心配しないで神様のもとに帰りなさいね」と送り出しているようでした。

翌日、ラポメスというホームに夕食に伺いました。それぞれが話し、にぎやかに食事を終えました。後片付けをコアメンバーもアシスタントも一緒にしていました。効率的であるか否かではなくそれぞれができる事をする。その様子を見ながら、私は見失っていた大事な事に気が付きました。私たちは急いで仕事を片付け、急いで自分の時間を確保しようとして実は孤独になっている事に。

ジャンの葬儀に参加して、私はジャンの思想をわかっていなかったと思いました。ジャンとラルシュは時間が掛かっても其々ができることで家事に参加し、何よりも対話を大事にするということです。仕事よりも相手に関心を持ち、「元気？」「楽しんでる？」

「困ってないか？」と聞くことを大事にしていこうと思いました。

法人全体研修会報告

日時：2019年4月28日(日) デイセンター愛実にて 参加者21人
テーマ：福祉施設における働き方改革の取り組みとより良い施設づくりに向けて
講師：志賀 弘幸（社会保険労務士法人 シンクアクト代表）

◎福祉施設に必要な働き方改革とは？

有給休暇の義務化など労務管理の問題とは全く別の観点から、福祉施設における働きやすい職場のガイドラインが示された。業務の効率化や5Sについての意識を高めながら、分かりやすさ（マニュアル化）、目標の設定と共有、人材を人財に育てる方法など、一人ひとりが5年後、10年後の自分予想図を創れる意識改革こそが大切であることを学びました。まずはできそうなことからやってみよう！

★キーワード

効率化＝メンバーの声に傾聴するために、他の業務を分かりやすくする。
5S＝整理・整頓・清掃・清潔・しつけの習慣化、マニュアル化
職場の雰囲気＝環境づくり、改善できる人間関係の構築、気づきの共有
目標の具体化＝法人の理念、ビジョン、自分自身の目標→課題が見えてくる

◎午後の時間はみんなでワールドカフェ 批判や議論のない話し合い

テーマ アシスタントとして大事にしている事
どんなアシスタントになりたいか
今後自分が愛実の会で目指したいこと



◎総評

普段あまり話さない職員間の思いや本音が語られた、わかちあいの時でした。価値観が違っていても、同じ目標にベクトルを合わせて行ける事を願いました。みなさんの思いや課題を共有する場がないと理念は絵に描いた餅となってしまいます。研修の機会（話し合いの場）をもっと広げて、いろんなテーマでいろんな人と語り合うことが大切だと思います。このことが職場の雰囲気を変え、共感が生まれ、自分の存在を見出し、やりがいのある福祉の実践へ繋がって行くのだと思います。



2018年度 法人事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しながらより良いサポートを目指し下記の事業に取り組んでいます。

- ① 生活介護事業 障がい者デイセンター愛実 (大地の家・紙風船)
- ② 居宅介護事業 居宅介護事業所あみ (ホームヘルプ)
- ③ 法人独自サービス事業 (緊急時対応有料サービス)

★ 生活介護事業について

契約メンバー数 31名 (2019年3月31日現在) 1日平均14.5名の利用 (定員20人)
2つの部署 (大地の家17名・紙風船14名) がそれぞれの特徴を生かしながら充実した活動を行ってきた。また、季節の行事及びホールイベント等部署間の交流を定期的に行った。

★ 居宅介護・重度訪問介護及び移動支援事業について

- ・ホームヘルプ事業として(朝・夕の介助、入浴、通院、入院時、外出支援、家事等)を行い、安心できる地域生活の支援を行った。2017年度月平均66件→2018年度100件
- ・移動支援事業は、6月より再開し通学時の付き添いを行った。1件23回
- ・医療的ケアの必要性に対して喀痰吸引研修に参加し整備を開始した。

★ 独自サービス事業について

- ・緊急時の対応以外に利用の範囲を広げたことで利用件数が増加した。24件→113件
主なサービス内容 (デイサービスの延長：朝・夕、入院時付添い、通院・外出時の車移動)

④ 研修について

- ・法人全体研修会 4月29日(日) 場所；障がい者デイセンター愛実
接遇マナー研修 講師 株式会社シンクアクト 竹内裕子氏 参加25名
理念についてのワークショップ 理事長 島しづ子
- ・障がい者虐待防止についての学びの場を持ち、全体で共有しました。

⑤ ボランティア等の受け入れについて

南山幼稚園ミュージックベル、名古屋ワイズメンズクリスマス会、音楽会
古賀敦子、ゲオルグ・ロマコフ(フルートコンサート)その他ホールイベント
紙風船人形劇公演、交流会等

2019年度 活動方針

- ① 経営主体の充実を図りつつ、理事会及び定例会にて将来のビジョンを明確にしていく。
- ② メンバーの将来への課題及び地域とのつながりの拠点となることを模索していく。
- ③ 働き方改革を推進し、共に働きやすい職場環境の構築を目指す。
- ④ 認定NPO法人として情報の公開及び支援の輪を広げていくために法人のホームページを充実させていく。
- ⑤ 介護職員のスキルアップを目的として、外部への研修参加を奨励していく。

活動計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

特定非営利活動法人 愛実の会

科 目	金 額		単位:円
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	126,000	126,000	
2. 受取寄附金	5,367,238	5,367,238	
3. 受取助成金	544,320	544,320	
4. 事業収益			
1)生活介護事業収益	95,278,740		
生活介護事業	92,461,879		
食事収入	2,426,500		
就労支援事業収入	390,361		
2)居宅介護事業収益	8,750,050		
3)移動支援事業収益	69,000		
4)独自サービス事業収益	126,750	104,224,540	
5. その他収益			
雑収益	1,494,357	1,494,357	
経常収益計			111,756,455
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	63,902,292		
法定福利費	9,065,127		
福利厚生費	1,326,061		
人件費計	74,293,480		
(2)その他経費	30,453,983		
事業費計		104,747,463	
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	3,000,000		
給料手当	5,958,162		
法定福利費	630,196		
福利厚生費	43,836		
人件費計	9,632,194		
(2)その他経費	5,382,997		
管理費計		15,015,191	
経常費用計			119,762,654
当期経常増減額			△ 8,006,199
法人税、住民税及び事業税			68,500
当期正味財産増減額			△ 8,074,699
前期繰越正味財産額			61,639,665
次期繰越正味財産額			53,564,966

※貸借対照表はWeb:愛実の会ホームページ及び内閣府NPOポータルサイトより「愛実の会」検索にて閲覧することが出来ます。皆様から頂いた寄付金は、福祉車両の購入、アシスタント体制の強化及び紙風船夢づくり(人形劇制作)のために活用。その他、当事者研究全国交流集会名古屋大会のために日本社会福祉弘済会より496,000円の助成金を頂きました。2018年度寄付者数251名。感謝を持って報告させていただきます。ありがとうございました。



大地の家活動報告 3月-6月

今年度の大地の家は…

昨年度の大地の家は、季節感のある取り組みと活発な外出活動を行ない、新たに音楽活動を軸に据え、様々な取り組みを行ってきました。

一年を通して、ミュージックケアをはじめ各アシスタントの創意工夫のもとにオリジナリティあふれる音楽活動を行ってきました。

音楽活動の開始当初は、アシスタントもメンバーも手探りの状態でしたが、継続して音楽活動を行うことで、メンバーもアシスタントも楽曲や取り組みに対する認識が深まりました。

楽曲に対する認識が深まったことで、メンバーによっては決まった曲が流れると笑ったり、歓喜の声をあげたりする姿が見受けられました。

車いすに乗って上向きの状態(背中を倒した状態)でいるメンバーも多いことから、今年度は天井に作品を飾ることにしました。

メンバーが、季節を感じられるように、5月は大きな鯉のぼり(=端午の節句)を、7月は天の川(=七夕)を製作しました。

工作が苦手なメンバーが多い中、出来上がった作品を天井に吊ると、じっと見ているメンバーや空調で揺れ動いたりする様子を見てニコニコと笑っているメンバーもいました。みんなで作ることで、達成感を味わうことができました。

今年度はこれまで大事にしてきた季節感のある取り組み、外出活動と昨年度深めてきた音楽活動をより充実し、楽しく活動を行っていきます。

メンバーの目線の先に何があるか、メンバーの思いはどこにあるか、ということをお大事にしていきたいと思えます。



↑ 端午の節句
大きな鯉のぼり



↑ 七夕飾り
天の川のイメージで



↑ 上向きで装飾を
見上げるイメージ

2019年度活動計画

●外出活動

今年度も季節を感じられる活動を大事に、外出活動も季節を感じられるところを中心にでかけます。

大地の家のメンバーは30代半ばが中心世代となり、親御さんの世代は60代、70代が中心となります。家庭からの外出は年々難しくなっているため、大地の家での外出活動も引き続き大事にしていきたいと思っております。

4月：花見（荒子川公園） 5月：花フェスタ記念公園（岐阜県・バラまつり）
6月：デンパーク（安城市） 7月：かかみがはら航空宇宙博物館（岐阜県）
9月：アクアトトぎふ（岐阜県） 10月：遠足（長野県・赤沢自然休養林）
11月：動物とふれあい体験（調整中） 12月：紅葉狩り（東山動植物園）
2月：掛川花鳥園（静岡県） 3月：ひなまつり（徳川園）



●月ごとの活動計画

昨年度までと同様、音楽活動や創作活動、レクリエーションを中心に取り組みます。

リトミック（外部から講師を招いて音楽活動に取り組む）
口唇刺激活動（摂食機能の維持、感覚刺激のために行う）
音楽活動（ミュージックケア、アシスタント企画）
イエローシートキャンペーン（イオン茶屋店にて経済活動の一環として取組）
誕生日会（メンバーもアシスタントも大事にし、その月生まれの人を祝う）
壁画作り（季節のモチーフを決め、月に1つ全員で協力して製作をする）



●季節ごとの活動計画

日々の活動の中でも季節を感じられる取り組みを行います。

4月：イースター 5月：端午の節句、母の日
6月：父の日 7月：七夕、暑中見舞い作り
8月：流しそうめん、スイカ割り 9月：十五夜
10月：ハロウィン 11月：文化の秋
12月：クリスマス会、車いすの大掃除 1月：鏡開き、書初め
2月：節分、バレンタインデー 3月：ひな祭り、ホワイトデー



今年度は4月に特別支援学校を新たに卒業したメンバーを迎え、お互いに慣れるまで落ち着いた日々を過ごしています。慣れるまでにはまだまだ時間がかかりますが、お互いの関係作りを大事にしつつ、楽しみながら関わりたいと思っております。また、アシスタントも昨年度に何名かの入れ替わりがあり、まだまだ慣れないところが多くあります。

これからの大地の家がどうなっていくのか、不安と期待が入り混じっていますが、2019年度も楽しく活発に取り組むことができるように皆で力を出し合いたいと思っております。

紙風船のページ

また暑い夏がやってきます。健康には充分気をつけていきたいものです。さて、今回の会報では2019年度紙風船が歩いていく方向性についてお知らせしたいと思います。

2019年度の紙風船は

昨年度からメンバーとアシスタントは紙風船の方向性を何度も話し合ってきました。

紙風船の中心活動は人形劇です。稽古や公演を一生懸命やっていく事は大切です。そして公演依頼をいただくための宣伝や公演先でのグッズ販売も大切なお仕事です。話し合いを通し、宣伝活動やグッズ活動に積極的に携わってくれるメンバーの意気込みに頼もしさを感じました。また、余暇活動(レク外出やサークル活動)も取り入れていきます。まだまだ模索しながらのスタートですが、これからもメンバーの生き生きとした笑顔が紙風船にあふれるように支えていきたいです。



人形劇



宣伝活動



グッズ部門
ポーちゃんぬり絵



楽しく発声練習



もちろんお出かけも!



新メンバー紹介

☆紙風船新メンバーのK.Mさんは、ホームページから紙風船を知り、扉をたたいてくださいました。人形劇はもちろん毎日の活動にも積極的に参加してくださる頼もしい方です。これからよろしくお願ひします!



K.Mさん

何事にも
全力投球!





公演だより



【公演報告】

- 第246回2019年3月30日 (土) ふれあい公演@紙風船活動室 「ボーちゃん」
 第247回 5月11日 (土) 大府ライオンズクラブ主催@おおぶ文化交流の杜
 「ボーちゃん」
 第248回 6月25日 (火) 老人保健施設ラベンダー誕生日会にてパフォーマンス
 第249回 7月 2日 (火) 農村伝道神学校同窓会@紙風船活動室 「ボーちゃん」

おおぶの杜公演～ボーちゃん大人気！～

真新しい会館の中で堂々と演じるメンバーの姿、呼びかけにお客様も応えてくださり、会場全体が一体となった時間でした。当日はグッズも飛ぶように売れ、またたくさんの方が寄付にに応じてくださいました。集まった寄付金は、紙風船の夢づくりと作業会計とに分配させていただきました。本当にありがとうございました！



ボーちゃんおまわりさんに！？

ボーちゃんが新しいお仕事にチャレンジすることになりました！なんと今回は”おまわりさん”です！おばら先生と紙風船メンバーで何度も話し合いをし、ようやく台本ができあがってきました。これまでと同じく、お客様と一緒に作り上げていく楽しい内容になっています。早く皆さんの元へ届けられるよう稽古を積んでいきたいです！

【今後の公演予定】

- 7月16日 (火) 名古屋柳城短期大学付属豊田幼稚園 「ボーちゃん」
 25日 (木) 名古屋市緑寿荘公演 「ボーちゃん」
 8月28日 (水) デイサービス千音寺 「人形パフォーマンス」
 9月23日 (月・祝) ひまわりホール子どもアートフェスティバル
 「ポンタとたっくん」
 11月17日 (日) 愛知県手話通訳問題研究会 「ボーちゃん」



公演依頼募集中！



- ☆1公演2万～(予算につきましてはご相談に応じます (ボランティア公演も致します))
- ☆各地域のイベントや学校・幼稚園の行事の一環など30分～1時間プログラムが可能です。
- ☆メンバー・アシスタントは多くの方々に紙風船の想いが広がっていく事を願い、手紙やメール、SNSを使って宣伝活動を頑張っています。観てくださる方々の笑顔が私たちの元気の源です！ぜひ、私たち紙風船と一緒に素適な時間を過ごしませんか？

☆SNSにて紙風船の活動、公演情報を公開中！

「人形劇団紙風船」で検索！！



居宅介護事業所あみ 地域生活支援に向けて

愛実の会に集うメンバーは30名（車イス利用者28名）、障害程度区分6=25名、5=2名、4=1名、3=2名。（障害程度区分=高齢者と同様の要介護認定+要支援認定）平均年齢は36歳となりました。その内17名が現在居宅介護事業所あみの支援を受けています。ここ数年加齢とともに重度化の傾向が多く見られ、また介護をする家族の高齢化も進み、地域生活の安心度が青信号から黄色点滅に変わってきています。それは、家族での介護の限界を意味しており、同時に愛実の会にも通えなくなるという事態が生じています。

★愛実の会の理念にはメンバーの生活支援として

「メンバーの必要に応じて、社会資源を活用しながら、一生涯支えていくことを目指す」とあります。

様々な福祉サービスが利用できるよう、相談支援、各介護事業所、医療機関等が連携をとりながら支えていく仕組みを想定しています。そして、一番必要なのがマンパワーです。継続的に支援する人がいないと、地域生活は維持できません。そしてひとりの支援者に比重がかかるのではなく、多くの人の支援の輪があれば、そこに安心が生まれます。

★2018年度の実績報告

提供内容：居宅介護（身体介護・家事援助・通院等支援）・重度訪問介護（外出支援含む）
移動支援(ガイドヘルプ)

実利用者数：28名月平均利用100件 内訳 居宅介護：16名（メンバー8名・外部8名）

重度訪問介護：17名（メンバー14名・外部3名）移動支援：1名（外部1名）通学時の付添い
具体的内容：生活介護通所前後のケア、入浴介助、通院付き添い、外出支援

入院時コミュニケーション支援、その他日中の家事援助、見守り等

※制度を利用できないサービスについては、法人の独自サービス（有料）を活用することで、緊急時の対応を含め、提供できるサービスの内容を広げることができました。

★今年度の取り組みの変化

自立生活をするメンバーの生活支援が始まりました。

- ①日中の生活介護に通うための朝のケア
- ②夕方から夜間の24時間対応
- ③喀痰吸引等医療的ケアへの対応（5月～）



※夜間見守りできる方を募集しています。（旧ホームヘルパー2級又は重度訪問介護養成研修以上の資格が必要になります）

《シェアハウス構想の実現に向けて》

地域生活支援の課題について、将来の不安を安心へと変えていくために

愛実の会では、今年度から定例会を中心にシェアハウスについて取り組むことになりました。会員の方からは、障がい者のためだけの入居場所ではなく、様々な形で助け合えるホームの声も出されており、何をシェアしていくのか？そのコンセプトなど夢構想から実現への道のりを創造していくことから、愛実の会のビジョンが示されていくように思います。

どうぞ、今後の動きに注目しててください。

【NPO愛実の会寄付者名 (順不同・敬称略) 2019年3月1日～2019年6月30日】

★寄付金

亀田 隆子	青本 光子	住田 貞次	堀尾 勇夫
大藪 礼子	犬養 光博	阿部 健二	加藤 勝敏
武井 陽一	大村 恵子	谷野 順子	大淵 哲也
大野 智恵	山崎 京子	安藤 香代	片桐 美由紀
河内 麻利	有村 忠雄	岩田 妙	安藤 眞知子
酒井 久仁子(複数回)	吉谷 尚之(複数回)	島 しづ子(複数回)	

教団)金城教会 教団)名古屋桜山教会シャロンの会 教団)愛知教会女性の会
教団)刈谷教会CS 教団)知多奥田キリスト教センター
教団)岡崎教会教会こども会 学校法人金城学院 中部学院大学宗教委員会

★紙風船夢づくり

北村 芳子	栗原 健	大野 智恵	関島 秀樹
SONPOちきゅう倶楽部	大府ライオンズクラブ		

★物品寄付

志賀 弘幸	池内 真澄	宮嶋 映子
-------	-------	-------

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」寄付者名 (順不同・敬称略)】

南 吉衛	真木 芳子	渡辺 徹朗	喫茶愛実
------	-------	-------	------

【ボランティアでご協力いただいた方】

和田 かをり	池田 操	
永田 友香	森田 武	大野 千恵 (紙風船)
南山幼稚園ミュージックベルサークル (ホールコンサート)		
古賀 敦子 ゲオルギー・ロマコフ ラドスラフ・クレック (ホールコンサート)		



ご協力ありがとうございました。

事務局からのお知らせ

チャリティーコンサートについて

5月14日の開催されましたフルート、チェロとピアノの響き（チャリティーコンサート）に悪天候にもかかわらず、たくさんの方にご来場いただきありがとうございます。すばらしい演奏を聴くことができました。カンパとして集まりました75,000円は名古屋ダルクにチャリティー基金として贈呈させていただきました。

寄付金について

2018年度の寄付金総額5,367,238円となりました。

内訳 愛実の会寄付金・・・5,121,339円

紙風船夢づくり・・・245,899円

多くの方のご支援、ご協力ありがとうございました。



2019年度目標額 380万円

愛実の会では2019年度もメンバーの地域生活の支援の構築に向け新たな展開を始めています。引き続き愛実の会へのご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

*アシスタント支援体制の強化

*福祉車両整備のために

*人形劇制作等

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639

□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番地の24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://npoaminokai.wixsite.com/aminokai

または

【「認定NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何□でも結構です

◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）

◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）